

第 2 回学校評議員会 会議録

開催日時	令和 6 年（2024 年）3 月 7 日（木） 17 時 30 分～18 時 20 分	
会 場	北海道厚岸翔洋高等学校 校長室	
出席者数	学校評議員 2 名	学校 3 名
出席者名 (五十音順)	岩 崎 純 史（厚岸町商工会） 早 川 知 記（厚岸町保健福祉課）	校 長 山 本 十 三 教 頭 長谷川 智 人 事務長 土 池 健 吾
校長が意見を求めた事項		学校評議員の意見・質問
下記の資料をもとに、令和 5 年度の教育活動や生徒の状況などについて説明し、本校の学校運営に関する意見等を求めた。 <資料> 1 生徒の状況 2 教育活動 3 進路の状況 4 学校評価 5 マイスター・ハイスクール事業 6 グランド・デザイン 7 学校 P R リーフレット		1 教育活動について ・薬物乱用防止教室を行っているが、以前は保健師による喫煙防止や思春期教育の講話を行ったり、1 歳に満たない子どもがいるお母さん達に協力してもらい小さな子供を抱く体験学習のようなこともコロナ禍前には行っていた。 →ぜひ検討したい。 2 進路の状況について ・進学結果を見ると頑張っていると感じるが、地元に残らないのは残念。 ・町職員試験では受験者が募集人数に満たないため 3 次募集まで実施したり、筆記試験の難易度も下げているような状況。新卒で入っている職員もいるので、頑張っている姿を見れば興味を持ってもらえるかも知れない。 →現 2 年生は、総合的な探究の時間でアッケシソウや石けんの取組などの地元に関するテーマを扱っており、厚岸についての関心を深めている。 3 学校評価について ・保護者による評価より職員による自己評価の方が高い数値になっているが、これは決して過大評価しているわけではなく、自らが向き合っていることに懸命に取り組んでいるからではないか。
上記のとおり会議を開催した。 令和 6 年（2024 年）3 月 7 日 北海道厚岸翔洋高等学校長 山 本 十 三		

※ 別の書式により意見聴取の内容を整理している場合は、それを添付して保管すること。

※ 配布資料等を添付し保管すること。